



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7987 URL <http://www.nakabayashi.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 辻村 肇  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括本部長(氏名) 作田 一成 (TEL) 06-6943-5555  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	23,847	10.2	94	—	263	—	126	—
25年3月期第2四半期	21,648	△0.0	△248	—	△51	—	△16	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 245百万円( —%) 25年3月期第2四半期 △176百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.27	—
25年3月期第2四半期	△0.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	44,903	20,037	42.5
25年3月期	44,331	19,782	42.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,089百万円 25年3月期 19,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	3.0	1,500	57.4	1,700	36.1	1,000	29.5	17.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	61,588,589株	25年3月期	61,588,589株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,875,498株	25年3月期	5,871,446株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	55,715,313株	25年3月期2Q	55,723,420株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	増減額
売上高	21,648	23,847	2,199
営業利益又は営業損失(△)	△248	94	343
経常利益又は経常損失(△)	△51	263	314
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16	126	142

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により、景気は緩やかに回復の兆しが見えてきましたが、円安による原材料価格上昇、諸外国の財政問題、平成26年4月からの消費税引き上げによる個人消費低迷の懸念などから、依然景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、受注部門ではBPO推進によるデータプリントサービスの受注拡大、図書館総合事業の構築、手帳の販路拡充などに取り組みました。製品販売部門では新製品の開発・拡販、ネット販売の強化、海外販路の開拓などに取り組みました。また前期第3四半期より連結子会社となったカグクロ株式会社、協友株式会社の業績面への寄与がありました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比10.2%増の238億47百万円となりました。

利益面では原価率が若干低下し売上高も増加したことから、売上総利益が増加いたしました。販売費及び一般管理費は増加したものの、営業利益は94百万円（前年同四半期営業損失2億48百万円）、経常利益は2億63百万円（前年同四半期経常損失51百万円）と大幅増益となりました。

また特別利益は固定資産売却益39百万円など合計で69百万円を計上し、特別損失は固定資産処分損15百万円など合計で26百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の四半期純利益は1億26百万円（前年同四半期 四半期純損失16百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書製本については、市場が低迷しているなか新規開拓に取り組み、製本冊数の増強を図りました。また大学、公共図書館の業務委託事業や電子化事業などの受注拡大に努めました。データプリントサービスについては、大口受注物件の獲得により順調に推移いたしました。ラベル事業やWeb通販事業はまだ本格化には至りませんでした。手帳については、引き続き法人向け手帳や市販手帳の新規販路の開拓に注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は119億57百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業損失は65百万円（前年同四半期営業損失1億41百万円）となりました。

②ステーションナリー関連事業

専門店、GMS、カメラチェーン店、ホームセンター、コンビニなどへの販売強化に引き続き注力するとともに、デジタル文具「スマレコペン」の機能拡大や「スマレコカレンダー2014年版」、「スマレコダイアリー2014年版」の発売など「スマレコシリーズ」の拡充を図りました。小型スキャナ「フォトレコ」や「スイング・ロジカルノート」などの販売は引き続き堅調に推移いたしました。またネット販売の拡充や海外販路の開拓にも取り組みました。

この結果、当事業の売上高は62億1百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業損失は81百万円（前年同四半期営業損失95百万円）となりました。

③環境事務機器関連事業

大型シュレツダについては、「機密文書の出張細断サービス」のトラック「新型エコポリスバン」、「メディア破砕機」などの販売に注力いたしました。中小型シュレツダについては、販売店の新規開拓を図るとともにハイセキュリティシュレツダなどの新製品の販売強化に努めました。また連結子会社のカグクロ株式会社が営むオフィス家具のネット販売は好調に推移し、業績に大きく寄与いたしました。

この結果、当事業の売上高は23億58百万円（前年同四半期比106.6%増）、営業利益は1億48百万円（前年同四半期営業損失6百万円）となりました。

④PC周辺機器関連事業

家電量販店向けタブレット・スマートフォン関係商品の充実を図るとともに、海外旅行先でのPC周辺機器・用品のアイテム強化、消耗品の販売強化などに注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は14億34百万円（前年同四半期比11.2%増）、営業利益は1億18百万円（前年同四半期比20.6%増）となりました。

⑤ベビー&シルバー関連事業

チャイルドシートは前期後半より市場は回復しつつあり、海外販路を含めた新規開拓の推進や新製品の開発に取り組みました。ケアリング部門は主にシルバーカーの拡販を図り、メディカル部門はカルテワゴンや点滴スタンドなどの販売強化に努めました。

この結果、当事業の売上高は7億88百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業損失は4百万円（前年同四半期営業損失37百万円）となりました。

⑥その他

その他は、連結子会社のウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業、日本通信紙株式会社が営むアウトソーシング事業部門などであり、売上高は11億7百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は82百万円（前年同四半期比30.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9億63百万円減少し、204億88百万円となりました。これは商品及び製品が5億53百万円、仕掛品が4億20百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が17億15百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15億35百万円増加し、244億14百万円となりました。これは機械装置及び運搬具（有形固定資産の「その他」）が7億55百万円、建物及び構築物（有形固定資産の「その他」）が4億48百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて5億71百万円増加し、449億3百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25億49百万円増加し、172億46百万円となりました。これは未払金（流動負債の「その他」）が1億71百万円減少しましたが、短期借入金が25億92百万円、賞与引当金が2億22百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて22億32百万円減少し、76億19百万円となりました。これは、長期借入金が22億87百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億16百万円増加し、248億65百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億55百万円増加し、200億37百万円となりました。これは少数株主持分が1億79百万円増加したことなどによります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結累計期間末の自己資本比率は42.5%となり、前連結会計年度末に比べて0.4ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降、概ね計画通りの収益が確保される見込みであり、通期では売上高（500億円）、利益（営業利益15億円、経常利益17億円、当期純利益10億円）とも前回公表数値より変更はありません。

なお、業績予想につきましては、平成25年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,010	4,303
受取手形及び売掛金	9,739	8,023
商品及び製品	4,091	4,645
仕掛品	519	939
原材料及び貯蔵品	1,177	1,294
その他	976	1,293
貸倒引当金	△62	△11
流動資産合計	21,451	20,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,923	5,372
土地	10,855	10,834
その他(純額)	3,152	3,818
有形固定資産合計	18,930	20,025
無形固定資産		
のれん	476	414
その他	520	670
無形固定資産合計	997	1,084
投資その他の資産		
その他	2,967	3,321
貸倒引当金	△16	△17
投資その他の資産合計	2,951	3,304
固定資産合計	22,879	24,414
資産合計	44,331	44,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,339	6,248
短期借入金	4,197	6,789
未払法人税等	344	332
賞与引当金	491	714
その他	3,324	3,160
流動負債合計	14,697	17,246
固定負債		
長期借入金	5,836	3,548
退職給付引当金	3,693	3,725
役員退職慰労引当金	13	2
その他	308	342
固定負債合計	9,851	7,619
負債合計	24,549	24,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	4,578	4,538
自己株式	△1,335	△1,336
株主資本合計	18,649	18,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	390
繰延ヘッジ損益	12	9
為替換算調整勘定	51	80
その他の包括利益累計額合計	363	480
少数株主持分	768	948
純資産合計	19,782	20,037
負債純資産合計	44,331	44,903



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	21,648	23,847
売上原価	16,409	17,992
売上総利益	5,238	5,854
販売費及び一般管理費	5,487	5,760
営業利益又は営業損失(△)	△248	94
営業外収益		
受取賃貸料	70	72
貸倒引当金戻入額	7	49
その他	213	138
営業外収益合計	290	261
営業外費用		
支払利息	55	50
貸与資産諸費用	23	22
その他	13	19
営業外費用合計	92	92
経常利益又は経常損失(△)	△51	263
特別利益		
固定資産売却益	73	39
投資有価証券売却益	4	30
特別利益合計	77	69
特別損失		
固定資産処分損	1	15
投資有価証券評価損	54	—
デリバティブ解約損	—	10
その他	1	0
特別損失合計	56	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29	306
法人税、住民税及び事業税	119	307
法人税等調整額	△112	△130
法人税等合計	6	176
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36	129
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△20	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16	126

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36	129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	92
繰延ヘッジ損益	△10	△5
為替換算調整勘定	2	28
その他の包括利益合計	△139	115
四半期包括利益	△176	245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153	243
少数株主に係る四半期包括利益	△22	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。